

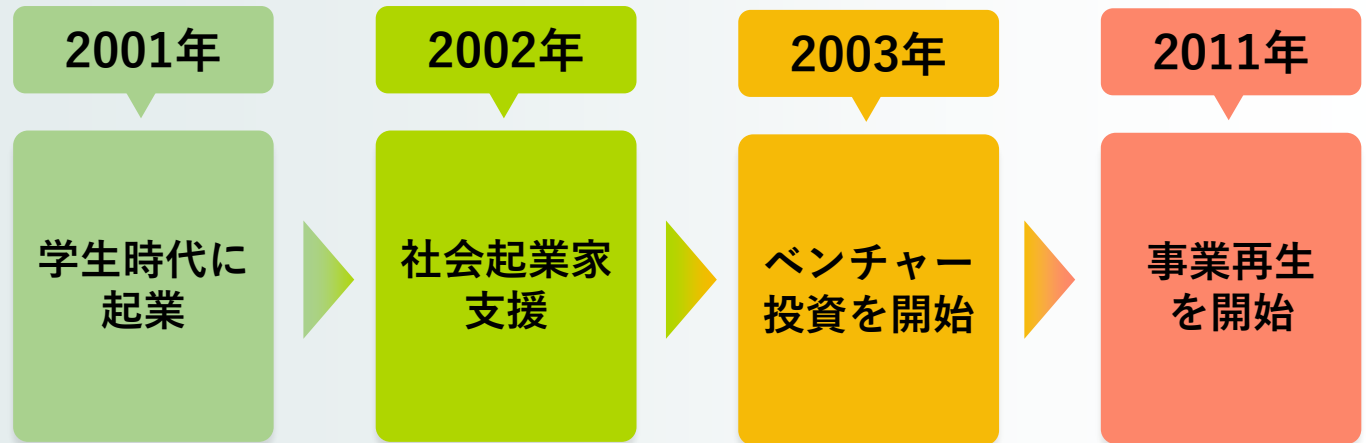
CryptoはSustainableなのか

～世界経済フォーラムの視点から～



株式会社ビットポイントジャパン
代表取締役 小田玄紀

2001年に起業をして以来、ベンチャー支援/社会起業家支援/事業再生などを通じて『**頑張る人が報われる**』ことを当たり前にする取組を続けてきました。



2018年 **紺綬褒章**を受章

2019年 世界経済フォーラムより**Young Global Leaders**に任命される

リミックスポイントは東京証券取引所第二部に上場する企業です
世界経済フォーラムの企業会員でもあります

remixpoint



リミックスポイントは規制緩和や法令改正など
社会が変化するタイミングで生じる課題を事業を通じて解決する企業です



remixpoint



SDGs（持続可能な開発目標）とは何か

- SDGsとは、2001年に設定されたミレニアム開発目標（MDGs）に続き、2015年に国連サミットで採択された2030年までの国際目標。
- SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴールから成る。
- ブロックチェーン領域がSDGs達成のために果たせる役割は様々な可能性がある

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

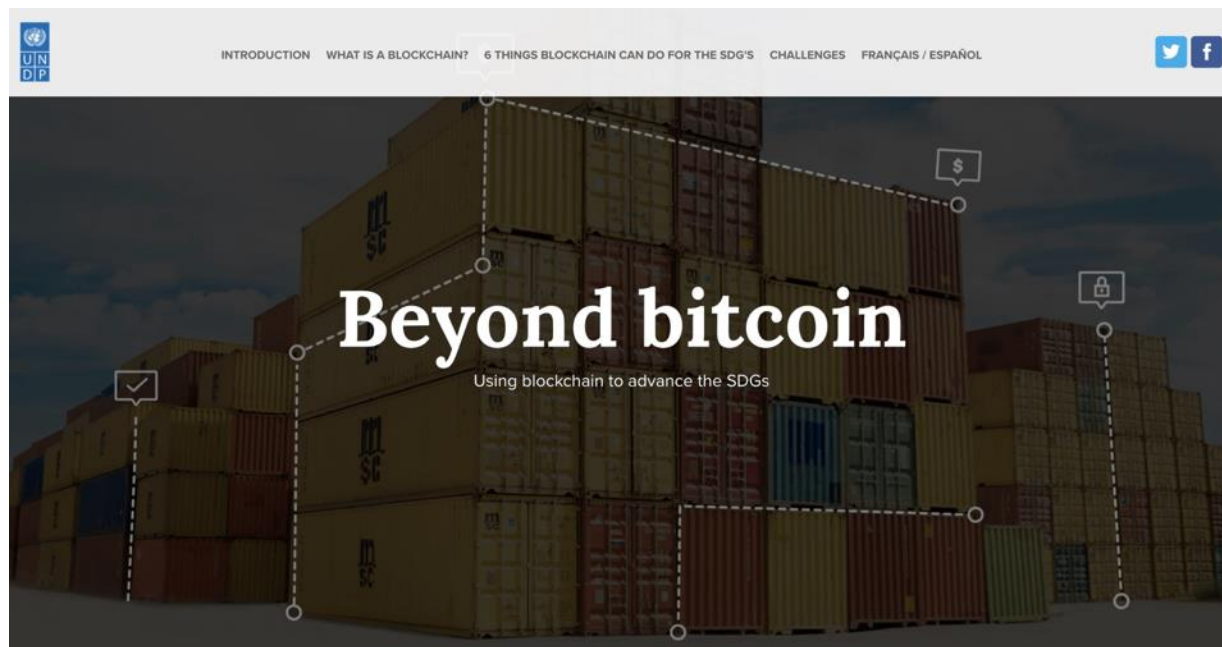
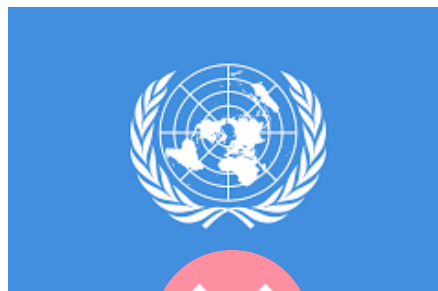


✔ … ブロックチェーン技術が貢献できる可能性がある分野

- 世界経済フォーラムが提唱する第四次産業革命においてもブロックチェーンの必要性は提唱されている
- 第四次産業革命日本センターがFocusする4つの分野においてもブロックチェーン技術が果たす役割は極めて大きい



- 国連開発計画（UNDP）もSDGs達成に向けたブロックチェーンの活用方法を解説している
- <https://feature.undp.org/beyond-bitcoin/>



- 1 金融包摂（Financial Inclusion）
- 2 エネルギー・アクセスの環境向上
- 3 生産と消費責任

- 4 環境保護
- 5 法的アイデンティティの提供・維持
- 6 寄附の効果向上

- 夏季にサマーダボスとして中国（天津または大連）で世界経済フォーラムの大規模会議が開催されます
- 参加者総数は1.5~2万人程度となります。1000~1500人規模のメイン会場が2~3つ、100人規模の中規模会場が3~5つ、ミニセッション会場が8~10個位になります



会場外観



メイン会場

- 大会場ではグローバルに注目される経営者や政治家のセッションが開催されます
- 小会場でのセッションを含めると全部でプログラムは2~3日間で80~100個程度のセッションになります



ジャックマー氏の講演

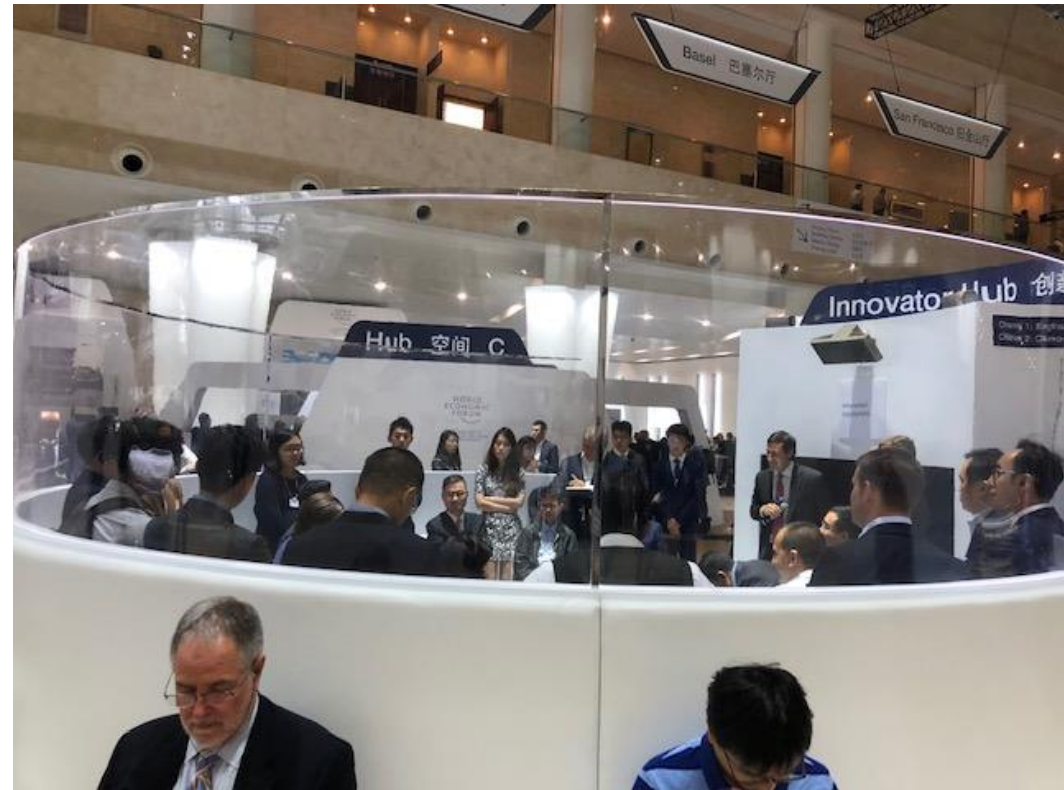


ミニセッション会場風景

- おそらくは世界経済フォーラムで初めてCryptoに関するセッションが開催されたのが2018年サマーダボス
- 参加者は30名程度。Blockchainとは何か。Bitcoinって何なの? というような一般的な話でした。



Crypto Assetsの会場入り口



ミニセッションでの開催でした

- ダボス会議の年次総会会場です
- 意外と警備は緩く、サマーダボスの方が厳戒な警備体制でした

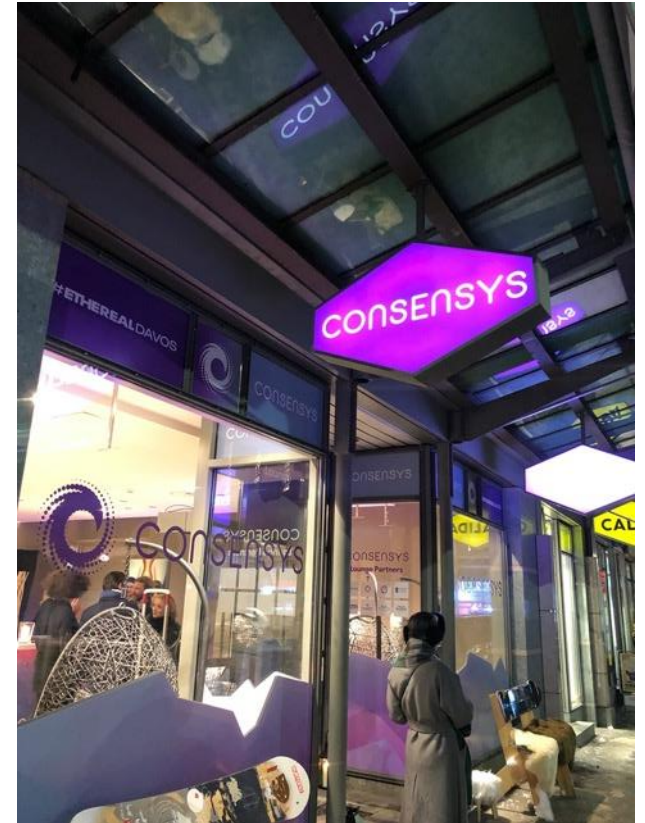


受付場所



メイン会場外観

- Blockchainに対する期待が非常に高くなっていました。Blockchainセッション専用の会場ビルが3つほど
- CryptoやBlockchainの会場は全て満席。立ち見で会場入り口の外まで人が溢れていました。



- サマーダボスは中国開催ということもあり、Cryptoについてのセッションはほぼありませんでした
- ただ会場にいた人達からは名刺交換するとCryptoについてこれからどうなるかを非常に熱く聞かれました



会場外観



会場内部

- Sustainability に関して検討をする世界経済フォーラム主催の会議

SDIS21 Sustainable
Development
Impact Summit

WORLD
ECONOMIC
FORUM

Shaping an Equitable, Inclusive and Sustainable Recovery

20-23 SEPTEMBER 2021

➤ BlockchainではなくCryptocurrencyがSustainableかどうかを議論するセッション

The screenshot shows the SDIS 21 event page. At the top, there is a navigation bar with icons for Overview, Programme, My Agenda, Network, and Initiatives, along with a search bar. The main header features a background image of Bitcoin symbols. Below the header, there are buttons for 'Meeting over' and 'Leadership Panel'. The event title 'Towards Sustainable Cryptocurrencies' is prominently displayed, followed by the date and time 'Thursday 23 September, 16:15-17:00' and the label 'Virtual Session'. At the bottom of the header, there are buttons for 'Watch Webcast', social sharing icons, and 'Give feedback'.

Overview

About

In one year, the market cap of cryptocurrencies grew from \$250 billion to \$1.5 trillion, and with this explosive growth there has been increased attention on cryptocurrencies' energy use. How can we build a more sustainable ecosystem for cryptocurrencies?

Simultaneous interpretation in English, French, Spanish, Chinese, Arabic and Russian

Access & Availability on this session

Record Webcast Interpretation

Contact

Arushi Goel

主な討議内容

- 『マイニングは環境負荷が高いため、Cryptoは環境に悪い』という問題はPOSへの移行や再生電力によるマイニングへの移行により解消されていると一蹴
- Crypto市場は様々な産業の中でも稀有な特徴を持つ。それは『その産業を伸ばそうとする場合に政府が投資を必要としないこと』。たとえば自動車産業の誘致などをする場合には様々な補助金による誘致を必要とするが、Cryptoの場合はルールを制定することで勝手にCrypto産業が成長していく。しかも市場規模が数百兆円にまで達するなど大きな市場形成効果が確認される
- さらに特記すべき点として『Crypto産業は自発的に雇用を創出したり、寄付や社会貢献への取組みを行う精神が見られる。この観点からもCryptoはSustainabilityが高い産業ではないか』という意見が出された